

ワンクリック詐欺誘引メール

大項目	電子メール
小項目	ワンクリック詐欺誘引メール
タイトル	ワンクリック詐欺誘引メール～ワンクリック詐欺の手口と、その対策～
ねらい	「ワンクリック詐欺」の手口を理解し、事前にできる対策やトラブルに巻き込まれた時の適切な対処法を身に付けさせる。
作成の意図	<p>メールやサイトに記載されているURLやリンクボタンをクリックするだけで、「登録ありがとうございます。登録料を払ってください」などと表示される「ワンクリック詐欺」の被害が急増している。</p> <p>そこで、「ワンクリック詐欺」の手口を知らせ、事前にできる対策とメールが送られてきた時やトラブルに巻き込まれてしまった時の適切な対処法を身に付けさせる。また、実際に起こった事件を知ること、自分の身にも起こりうることだと認識させる。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンクリック詐欺とは ・ワンクリック詐欺の手口 ・ワンクリック詐欺対策 ・もしもトラブルに遭遇してしまった時の対処法 ・実際に起こったワンクリック詐欺の事例
展開例	<p>(1)情報モラル啓発資料を配付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、携帯電話を所有していない者も、一緒に考えさせるようにする。 <p>(2)携帯電話が招くトラブルについて考えさせる。</p> <p>①「インターネット利用者を対象にしたオンライン詐欺に関する調査結果」(ブロードバンド推進協議会)のグラフから、15歳から19歳以下では、ワンクリック詐欺の被害が突出していることを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンクリック詐欺を知っているかどうか発問し、生徒の挙手によって認知度を確認する。 <p>(3)ワンクリック詐欺の手口を理解させる。</p> <p>①イラストを見ながら手口を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「画面をクリックしたとたんに登録画面が表示され、高額な料金を請求される手口をワンクリック詐欺という」と説明する。 <p>②登録画面が表示された場合どんな気持ちになるか、請求された金額を振り込むべきか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの意見を発表させる。 ・不安をあおり、振り込ませようとするワンクリック詐欺の手口に気付かせる。 <p>(4)事前にできる対策を知らせる。</p> <p>①知らない人からの電子メールは受け取らないようにさせる。</p> <p>②知らない人からの電子メールに記載されたリンクをクリックしないようにさせる。</p> <p>(5)トラブルに遭遇してしまった時の、対処法について理解させる。</p> <p>①利用規約が記載されていない場合は無視してよいことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子消費者契約法による、不当請求の有効性について説明する。 <p>②個体識別番号は表示されても個人情報伝わらないことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動登録画面に携帯電話では個体識別番号、パソコンではIPアドレスが表示されるが、相手に個人情報が漏れることはないことについて説明する。 ・不安な場合は、警察署か消費生活センターへ相談するようにさせる。 <p>③相手に、氏名、住所、電話番号等の個人情報は絶対に伝えてはならないことを理解させる。</p> <p>(6)実際に起こったワンクリック詐欺の事例を確認させる。</p>